45 01 09 01 03 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年07月19日（月）

事務事業	消防水利整備事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4516
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画施策名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	消防法 消防力の整備指針 深谷市防火井戸等取壊工事費補助金交付要綱				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	市民の生命、身体及び財産を火災から守るため、消防水利の撤去等を行い、有効な初期消火及び消火活動ができるよう消防力の充実強化を図る。
目的 ※何のために	消防力の充実強化を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	消防水利。
手段 ※どのように	整備及び撤去等を行う。
成果 ※何を求めるか	安定的な消防水利を確保し、市民の生命・身体及び財産を火災から保護する。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	消防水利整備事業	40,095,737
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- 消防水利設置工事
- 消防水利の維持管理
- 防火井戸等取壊工事費補助金の交付
- 消火栓布設替工事負担金の支出
- 消火栓維持管理費負担金の支出
-

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金
事業費	予算（現額）	41,307,000	41,593,000	39,260,000	40,310,000	42,605,000	42,605,000
	決算額	39,380,216	34,545,097	37,807,348	40,095,737	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	39,380,216	34,545,097	37,807,348	40,095,737	42,605,000	42,605,000
人件費	従事職員数（人）	0.85	0.85	0.75	0.85	0.75	0.75
	人件費相当試算 ※1	6,612,150	6,614,700	5,895,750	6,915,600	6,102,000	6,102,000
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		45,992,366	41,159,797	43,703,098	47,011,337	48,707,000	48,707,000

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	消防水利の設置数（防火水槽、消火栓、防火井戸）	目標値	基	3.00	3.00	9.00	9.00	9.00	9.00	□
			実績値		3.00	4.00	16.00	17.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		消防水利重点整備計画に基づき目標値を設定							
		設置数									
□	活動指標２	消防水利の修繕基数	目標値	基							■
			実績値		5.00	3.00	4.00	4.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		修繕回数が多ければよいものではないため、目標値は設定できない。							
		修繕実数									
■	成果指標１	市街地・準市街地における消防水利の充足率	目標値	%	66.40	66.40	66.40	67.70	67.70	67.70	□
			実績値		66.40	66.40	67.70	67.70	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度実績が目標値							
		現有数／基準数									
□	成果指標２	消防水利の稼働率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		常に使用できる状態に保つことが目標値							
		稼働水利／総水利数									
■	効率指標１	消防水利１基あたりに係る維持管理経費	目標値	円							■
			実績値		13,269.58	11,837.73	12,554.75	13,501.24	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		消防水利の修繕等により管理費が増減するため目標値は設定できない							
		総事業費／総水利数（公設）			公設３４６６	公設３４７７	公設３４７９	公設３４８２			
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 目標値を超える消防水利を設置した。計画していた防火水槽修繕を実施し、消防水利の維持管理に努めた。
成果（意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 消防水利を不足地域へ設置することで、充足率が向上し消防力の充実強化に繋がった。また、消防水利の修繕、維持管理を行ったことで消防水利の稼働率を維持した。
効率性（効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 消防水利１基あたりにかかる維持管理費に目標値の設定をすることはできないが、環境水道部で実施されている老朽管工事に伴う消火栓の布設替え工事、開発指導等により、維持管理費の増減が見られる。

評価者	課長補佐兼警防企画係長　新井　俊光

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	消防水利の充足率向上を図るため、環境水道部と協力し、消防水利不足地域へ消防水利の設置を図る。また、消防水利の不具合個所を早期に発見し、修繕を実施することで消防水利の稼働率を維持する。
達成状況及びその効果	消防隊が毎年実施している消防水利点検結果をもとに、消防水利を計画的に修繕した。また、消防水利不足地域へ消防水利を設置し、充足率の向上を図ることが出来た。常時消防水利を稼働させることで火災等の災害活動に対する有効な消火活動を行ったものである。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防水利整備事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4516

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

火災等の災害活動を行う上で、消防水利は必要不可欠な消防力であることから、消防力の充実強化を目的として、今後も積極的に事業を継続していく。

評価者	次長兼警防課長　髙野　政之

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

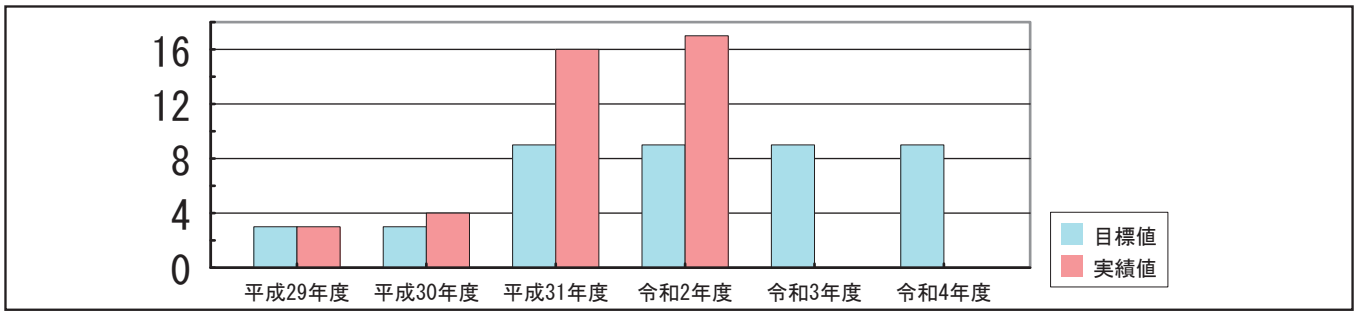
改善・改革案	消防水利の充足率向上を図るため、環境水道部と協力し、消防水利不足地域へ消防水利の設置を図る。また、消防水利の不具合個所を早期に発見し、修繕を実施することで消防水利の稼働率を維持する。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

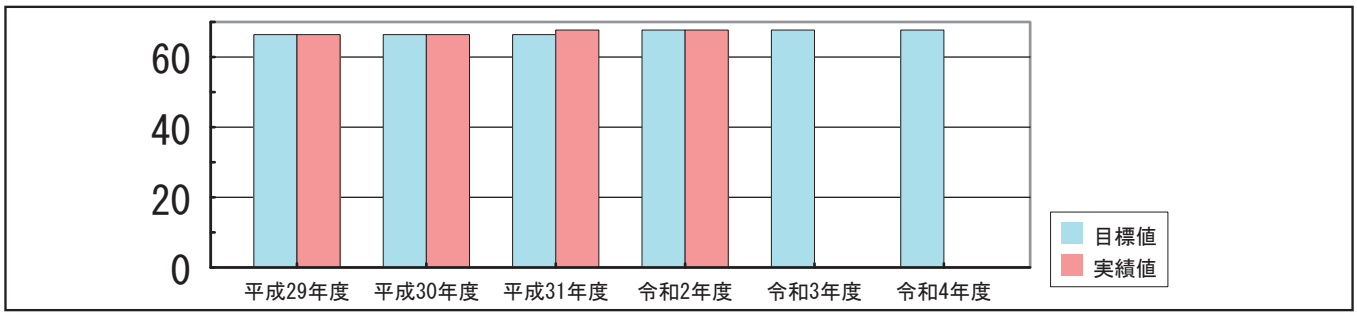
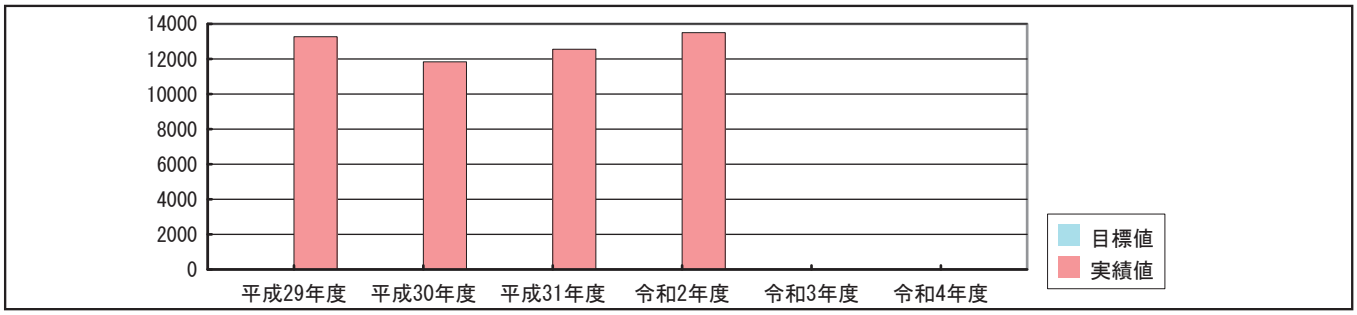
今後の課題	発生の切迫性が指摘されている大規模地震等に対応するため消火栓以外の消防水利設置についても検討していかなくてはならない。また、老朽化し減水した防火水槽が多々あるため、優先順位を決定し修繕を実施していく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	消防水利の設置数（防火水槽、消火栓、防火井戸）



区分	成果指標１	指標名	市街地・準市街地における消防水利の充足率



区分	効率指標１	指標名	消防水利１基あたりに係る維持管理経費